



2023年5月9日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学アート・センター主催
アート・アーカイヴ資料展 XXV
「歌舞伎への情熱—田邊コレクション／『役者』関係資料展」
(2023/5/22～7/28)

今年開設 30 周年を迎える慶應義塾大学アート・センターの、アーカイヴ活動の初期に目録化が行われた、歌舞伎雑誌『役者』の関連資料である「田邊コレクション」を展示いたします。

歌舞伎雑誌『役者』は、終戦直後 2 年ほどの間に発行されましたが、物資も乏しい困難な時代に歌舞伎に向けられた情熱と高い意欲が感じられます。「田邊コレクション」はこの雑誌『役者』の発行者であった田邊光郎氏ご遺族から当センターに寄贈された資料です。

今回の展覧会では、これまで目に触れる機会の少なかった当時の貴重な資料を展示します。困難な時代に歌舞伎に注がれた情熱、また雑誌を通してそれを受け取った愛好家や研究者の熱い思いを、資料を通して感じていただければ幸いです。

1. 基本情報

会 期：2023年5月22日（月）～7月28日（金）※土日祝休館

開館時間：11：00～18：00

会 場：慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館 1 階アート・スペース）

入 場：無料

展覧会ウェブサイト：<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artarchive25/>

主催：慶應義塾大学アート・センター

2. 展覧会概要

慶應義塾大学アート・センターは今年開設 30 周年を迎えます。開設 5 年後から取り組んできたアート・アーカイヴの活動はその範囲を広げながら当センターの根幹的な活動となっています。その発信の一環として、2006 年より開催している資料展も 25 回を数えることとなりました。

今回ご紹介する「田邊コレクション」は、アート・センターのアーカイヴ活動の初期に目録化が行われた資料ですが、広く知ってもらう機会をもつことができていませんでした。今回、アーカイヴ初期の活動に立ち返って、雑誌『役者』関連資料である田邊コレクションを紹介し、その存在を知っていただく契機としたいと考えています。

終戦後間もない 1947 年 6 月に第 1 号が発行された歌舞伎雑誌『役者』は物資も乏しい困難な時代に、2 年にわたり発行され、1949 年 7 月の 18 号で終刊しています。その「創刊の辞」に、伝統をもつ日本固有の芸術である歌舞伎の正しい在り方を示し、さらには新しい時代の国民歌舞

伎の創造にも寄与したいと情熱的に語られているように、高い意欲と歌舞伎への深い情熱が誌面から伝わってきます。「田邊コレクション」はこの雑誌『役者』の発行者であった田邊光郎氏ご遺族から当センターに寄贈された資料です。

今回の展覧会では、雑誌に掲載された舞台写真や画稿、原稿類を展示する予定です。これまで目に触れる機会の少なかった当時の貴重な資料の公開となります。困難な時代に歌舞伎に注がれた情熱、また雑誌を通してそれを受け取った愛好家や研究者の熱い思いを資料を通して感じていただければ幸いです。

3. 出品作品 (予定)



a



b



c



d



e

a, b, c: 『役者』表紙 (第 1、3、18 号)

d, e: 『役者』挿図原画

(※都合により展示作品が変更となる場合がございます。予めご了承ください。)

4. 関連イベント

会期中にイベントを開催予定です。詳細は決定次第 HP に掲載します。

<http://www.art-c.keio.ac.jp/news-events/event-archive/artarchive25/>

5. 会場案内

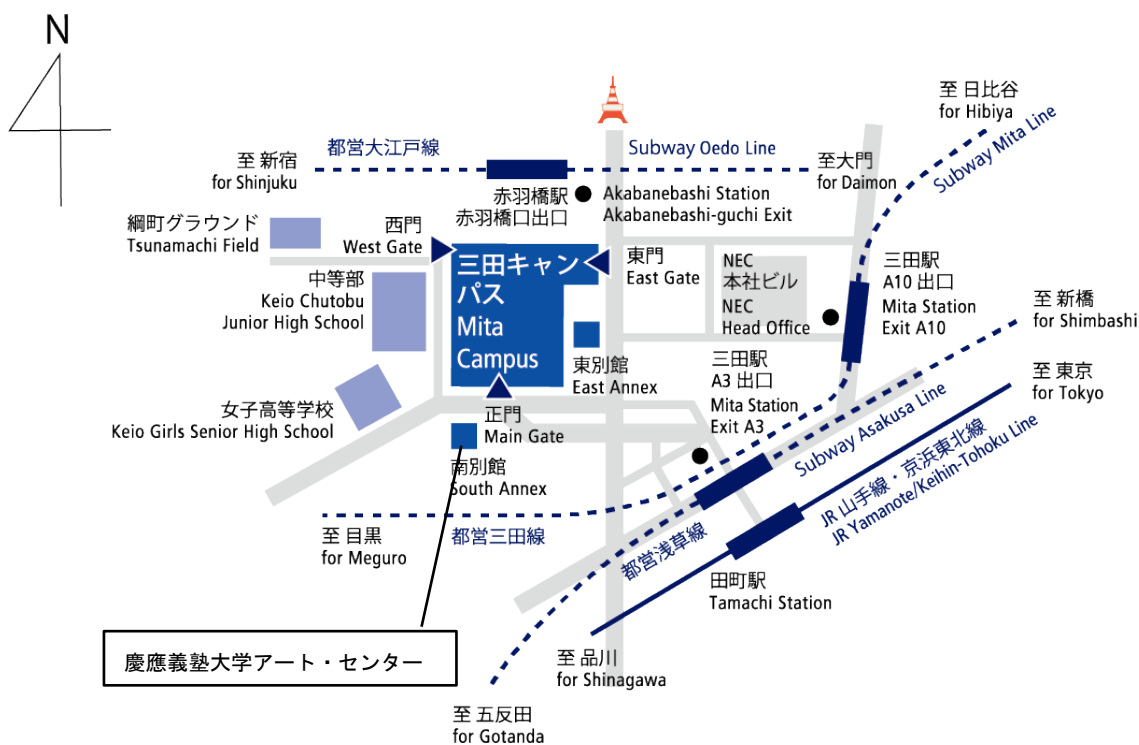
会場：慶應義塾大学アート・センター（三田キャンパス南別館 1 階アート・スペース）

住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

交通アクセス：田町駅（JR 山手線／JR 京浜東北線）徒歩 10 分

三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩 8 分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 15 分



※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部・教育部、文化部等に送信させていただいております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（豊田）

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

E-mail : m-pr@adst.keio.ac.jp

<https://www.keio.ac.jp/>